

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の方々がこれまでの経験や知識を活かして継続できるよう、一人ひとりの認知状態や身体面に合わせた軽作業を手伝っていただいています。また、毎日の体操とゲームを皆さん楽しみにしており、喜んで参加しています。利用者様に生きがいのある生活をしていただくために、施設内ではお誕生日会やクリスマス会、地域の民生委員の協力を得た餅つき会等の行事を催しています。また、外出行事として、観桜会やさくらんぼ狩り、ねぶた祭り見学、紅葉観覧等、希望に沿えるように出かけ、昼食として好きなものを選ぶ外食は大変好評です。馴染みのある生活を大切に、利用者様が毎日笑顔で、楽しみ事を増やせますように支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは市郊外ののどかな田園地帯の一角に立地し、隣接している同法人の介護老人保健施設や通所リハビリ、訪問介護ステーション、居宅介護支援事業所と連携をとりながら、利用者が地域の中で安心安全に暮らすことができるよう、一体的に支援している。

また、利用者の介護度が比較的軽く、その能力に応じた作業を提供することで、利用者が生きがいや楽しみを感じ、自立した生活ができるよう、職員は絶えず創意工夫に努めながら、日々のサービス提供に努めている。

健施設や通所リハビリ、訪問介護ステーション、居宅介護支援事業所と連携をとりながら、利

評価機関名	社会福祉法人 青森県社会福祉協議会	
所在地	青森県青森市中央3丁目20番30号	
訪問調査日	平成29年9月14日	

したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当施設の理念を職員が目にするホールに掲示し、共有しながら実践につなげている。	ホーム独自の理念を作成し、ホールへ掲示している。また、職員は毎朝理念を唱和することで共有し、地域密着型サービスの役割を理解しながら、利用者に対して笑顔で向き合うことをモットーに、日々のサービス提供に努めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームの取り組み状況や利用者様の様子を記載した広報紙を、市役所や第二地域包括支援センター、町会長、民生委員、利用者家族様に毎月送付しております。また、町内会に加盟しており、回覧版で、町内の取り組みや様子を拝見しております。	町内会に加入し、ホームの状況を広報で周知している他、町内会の清掃にも参加している。また、避難訓練やホームの餅つき大会等への参加を働きかけている他、歌手や楽器演奏の訪問、利用者の信仰する宗教関係者の面会等もあり、様々な地域資源との交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	避難訓練や餅つき会では、地域の民生委員や町会長に参加、協力していただいています。また、運営推進会議での意見を参考にさせてもらっております。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に行われる運営推進会議に皆さんが参加できるよう、案内の配送の他、来設時に随時、声がけをしております。評価の結果を報告して改善策を話し合い、ご意見を大切にして、サービス向上に努めております。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、町内会長や民生委員、利用者家族、地域包括支援センター職員等の参加がある。会議では、ホームの運営状況の報告の他、メンバーから意見や提案、アドバイスをいただき、ホームの運営に活かせるように取り組んでいる。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者には毎月、ホームの様子を記載した広報紙を送付しております。また、運営推進会議出席時には、ホームの取り組みと報告、問題点を話し合い、協力していただいております。	市職員や地域包括支援センター職員が運営推進会議のメンバーとなっており、最新情報を提供していただいている。また、生活保護に関する事や様々な相談にのっていただき、適宜、行政との連携を図っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については施設内外の研修、マニュアルを通じて理解しており、入所時においてもご家族に説明しております。 玄関の施錠については、見守り強化することで対応しています。	マニュアルを整備している他、職員はホームの勉強会等で身体拘束の内容や弊害について理解を深めており、身体拘束をすることなく、利用者の見守りを行いながら、日々のサービス提供に努めている。また、やむを得ず身体拘束を行う場合に備えて、家族への同意書及び経過記録等の書式を整備している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内外の研修及び資料を参考に、職員同士が声をかけ合い、虐待防止の環境作りに積極的に取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する学習会に出席し、学習の機会を設けています。 利用者様が必要になった場合は、社会福祉協議会に相談するようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様及びご家族に納得いただけるよう、契約時・解約時に十分に説明しております。 改定の際にも説明の他、文書を発行し、押印していただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内に意見箱を設置し、運営推進会議やスタッフ会議で公表し、運営に反映しています。 また、ご家族には、外部の苦情受付に関する事を説明しています。	玄関に意見箱を設置しており、入居時に利用者や家族に説明している他、ホーム内に苦情相談窓口も掲示している。職員は家族面会時に意見や要望を確認している他、利用者との日々の会話や表情等から意見や不満等を把握し、職員間で対応を検討する体制を確立している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のスタッフ会議や随時、個人の意見や提案を参考にして、運営に反映しています。	日常的に職員から意見を聞き、毎月の会議で話し合い、ホームの運営等に活かせるように取り組んでいる。また、内容によっては法人へつないで検討し、職員から出された意見を反映できるように努めている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状況を把握し、労働問題に関する質問には、参考資料を用いて説明しています。 職員個々に興味を持った研修会は、積極的に参加できるよう配慮し、個人の向上心を大切にしております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人の目標としている資格取得やそれに伴う研修の他、事業所の資質向上に向けて、法人内外の研修会の機会を確保しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターで開催する研修会等に積極的に参加し、交流の機会を持てるようにしています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面会し、ご家族とご本人が同席し、病歴や生活状況、心身の状態、不安な事、困っている事、要望等に耳を傾け、望む生活実現に向けて安心できるよう、丁寧に説明しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に面会し、ご家族やご本人が困っている事や不安、要望を傾聴し、利用者様の生活向上に向けて、より良い関係作りに努めています。 施設のサービスで困難な事は、納得できるように説明しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の心身の状態や病歴、生活歴を踏まえ、自施設で対応できるか検討し、困難な時は他施設、医療機関を紹介しています。 また、ご本人の望む生活や困っている事、ご家族の意向を踏まえ、介護計画に反映し、記載しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	毎日生活を共にする中で、日々の小さな喜びや悩み、希望を一緒に共有しています。行事やレクリエーションと一緒に参加することで、共に笑い、介護職員と利用者様という立場を離れ、楽しく過ごさせていただいております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の広報の送付や面会時、情報共有を図り、利用者様が望む生活の実現に向けて、協力関係を構築できるように取り組んでいます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前から継続してきた宗教団体の牧師や関係者が、気軽に立ち寄られています。利用者様のこれまでの生活を把握し、施設に入所してもご本人の希望や思いを大切に、今まで通りの関係が継続できるように支援しています。	入居時の聞き取りや日々の利用者との会話の中から、馴染みの人や場所の把握に努めている。ホームでは、利用者が入居前から信仰している宗教関係者の訪問が定期的にある他、家族の協力も得ながら、外泊等ができるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者様同士で食事の席を近くにしたり、難聴で他の利用者様とコミュニケーションが取りづらい方には、職員が間に入り、会話の橋渡しをして、孤立しない環境づくりに努めております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療機関に入院され、退所した方に面会したり、ご家族の相談も受け入れています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所前にご本人とご家族に面談し、これまでの生活や暮らし方を把握し、困っている事や希望をお伺いしています。入所後においても、コミュニケーションを通じて、ご本人の思いや希望の把握に努めています。	入居時のアセスメントにより、利用者の意向や希望等を確認している他、日々の会話や表情、行動等から思いを把握し、職員間で共有している。また、把握が難しい場合は、病院のソーシャルワーカーから再度情報収集をしたり、家族面会時に確認し、把握に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に、ご本人の生活歴や生活環境をご家族からお伺いしております。 他施設で介護サービスを利用されていた方には、前のケアマネージャーから情報を入手し、記録しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様と共に生活する中で、一人ひとりの一日の過ごし方や心身の状態を把握し、個人の能力に合った軽作業をお願いしています。 毎日のバイタルチェックやご本人の状態から、臥床を促したり、それでも改善が見られない時は、随時受診しております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様は日々の生活の中から、また、職員からの情報と意見の他、ご家族には訪問時、状態報告と希望をお伺いしています。 できる事を継続し、できない部分は声がけでできる部分を把握し、介護計画に反映し、記載しております。	入居時に意向を確認している他、利用者の能力や職員の気づきを踏まえてカンファレンスを行い、利用者本位の具体的な介護計画を作成している。3ヶ月毎にケアプランチェック表を用いてモニタリングを行っている他、家族の意向や利用者の心身状態等に変化が見られた場合は、その都度再アセスメントを行い、見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	昼夜の個人の状態を記録しており、随時、申し送りをして情報を共有し、問題点はノートに記入しています。 定期的に担当者会議を開催し、職員の意見を介護計画に反映しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が遠方に住んでいる方には、希望により住所を施設に変更し、市役所等の書類が届くようにして、手続きを代行しております。 生活保護の方は随時、市の生活福祉課へ状態・環境変化時に報告し、指示を受けています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	2ヶ月に1回、運営推進委員会を開催しており、出席いただいている町会長や民生委員に、今年開催される地域の行事を伺い、協力をお願いしております。 また、地域包括支援センターの方には支援に対してのアドバイスを受けています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と連携し、指示に従い、随時、ご家族と相談しながら、希望を考慮して、適切な医療が受けられるように支援しております。	入居前の受診医療機関や既往歴を把握しており、継続して受診できるように支援している。また、希望により、専門医療機関の受診を支援している他、緊急時には、ホームの協力医療機関と連携をとりながら対応する体制となっている。受診結果は家族面会時に報告している他、変化があった場合はその都度、電話で報告し、共有を図っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	自施設は看護師を配置していませんが、随時、母体の老人保健施設の看護師に相談して、アドバイスを受けております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入・退院時にはご家族や医療機関と情報交換し、退院に向けての支援をしております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者様の重度化や終末期における対応は、入所時に説明し、納得していただいています。 主治医の指示に従ってご家族と話し合いの場を設け、施設でできる範囲内での支援と、他施設・医療機関の紹介を行っております。	看取り対応は行っておらず、重度化した場合は入院や同法人の介護老人保健施設への入所、または希望する施設への移行となる旨、家族へ説明している。また、急変時には協力医療機関と情報を共有し、連携しながら支援する体制となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルに従い、自施設から自宅が近い職員へ連絡し、来てもらうことになっています。 また、年に2回の避難訓練を行っています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間を想定した避難訓練や緊急時マニュアルを把握しています。 また、町会長にお願いし、協力体制を築いています。	「防火管理規定」や「自衛消防組織編成表」を整備しており、利用者と共に夜間を想定した避難訓練を実施している。また、地域の防災協力員への連絡体制も整備しており、毎年の消防訓練には町内会長や地域の民生委員の参加・協力がある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格やプライバシーを配慮し、たとえ間違えたり、失敗しても、人前でなく、ご本人の居室で声がけをしています。	利用者に対し、目線を合わせ、「さん」付けで声がけをしている。職員は利用者の言動を否定することなく、自尊心やプライバシーに配慮して、一人ひとりのペースに合わせたケアに努めている。また、職員は個人情報の取り扱いや守秘義務について採用時に説明を受け、遵守している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様とコミュニケーションを取りながら、言葉や表情、しぐさに注意し、ゆっくりとご自身で決定できるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースや体調を考慮し、水分補給の時間を設けています。 軽作業やレクリエーションにおいても無理強いはせず、ご本人の希望を優先し、支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の好みの髪型や服装を取り入れ、その日の気温や体調を確認して、さりげなく、プライドを傷つけないように配慮のうえ、アドバイスをしています。 外出時には普段よりおしゃれを楽しめるよう、ご本人と一緒に洋服選びを行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みや食べられない物を考慮したり、旬の物を取り入れて、季節感を味わっていただいております。 昼食時には職員が利用者様の傍で、声がけや会話をしながら、楽しく食事をしています。	献立は職員が交替で作成し、利用者の嗜好や禁忌、食形態に配慮しながらも、旬の食材を取り入れて、バラエティに富んだ食事を提供している。利用者は山菜や筍の皮むき等を行っており、職員は利用者が楽しく食事時間を過ごせるよう、昼食時は一緒に席に着き、摂取状況を見守っている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスが良い献立を作っており、ご本人の好みや状態に合わせ、ミキサー食、副食を小さくしたり、主食は柔らかく提供しています。 水分は好みのものや脱水予防飲料を用意し、食事量が減少している方には、エンシュアを食事の時間以外でも提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアの促し、できない方には声がけ介助にて行い、外出後のうがいや手洗い施行し、感染症予防に努めています。 夕食後は毎日ポリデントを行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレ誘導に加え、訴え時、またはご本人を観察して、個人の排尿パターンに合わせた声がけし、トイレ誘導を行うように支援しています。	排泄チェック表により利用者の排泄パターンを把握し、事前のトイレ誘導を行っている。失禁時はさりげなく居室に誘導して交換する等、利用者の羞恥心やプライバシーに配慮している。また、定期的に排泄用品の検討会議を開催し、自立支援に向けた取り組みを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食には牛乳やバナナの提供、好みの飲み物を飲用していただいたり、随時、水分を多く摂取できるように声がけしています。 便秘時は排便チェックを行い、主治医指示の下剤を用いて、排便できるように支援しております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	利用者様の希望を取り入れ、入浴日を週3回にして、一日おきに入浴できるように支援しています。 一人ひとりの入浴時間や好みの入浴の仕方、介助の仕方を職員間で共有し、転倒や怪我がないように工夫しています。	入居時及び日々の会話の中で、利用者及び家族から入浴に対する希望や習慣を確認している。週3回の入浴を基本としており、病院受診時は翌日に入浴する等、臨機応変に対応している。ホームでは利用者一人ひとりの体調や気分に合わせて、羞恥心に配慮しながら、安全に入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後や虚弱体質の方にはご本人の体調に合わせ、臥床を促しております。 夜間眠れない方には話し相手となったり、安心感を与える声がけや、訴え時に寝具の調節をして、心地良く眠れる環境づくりを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示通り内服できるよう、日付や名前を読み上げてから内服しております。 また、薬剤管理指導を行うことで薬局と連携し、薬の仕分けや目的、副作用の確認がスムーズに行われています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の力量に合わせ、洗濯干しや洗濯たたみ、施設内の飾り付けのお手伝いをしていただいたり、趣味の編み物をされる方もいます。 毎日のレクリエーションや毎月の外出の機会を設けることで、一人ひとりの楽しみが見つかるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気や希望に合わせ、施設玄関先の花の観賞や近くを散歩しています。 月1回は外食や外出の機会を設け、ご本人の希望に沿って取り組んでおります。 ねぶた祭りの見学時には地域の方の駐車場をお借りする等、協力していただいております。 また、ご家族との外出は大変喜ばれております。	花壇の手入れや法人の敷地内の散歩、病院受診後の買い物等、日常的に外へ出る機会を設け、利用者の気分転換を図っている。年間行事の中に外出行事を計画し、利用者の身体状態や負担を考慮しながら、楽しみが感じられるように支援している。また、お盆や年末年始の帰宅時の送迎等、家族の協力も得られている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族と相談しながら、ご本人の希望や管理できる範囲の金額を所持していただいております。 ほとんどの方がホーム金庫でお預かりし、使途はご家族来設の際にレシートや領収書をお渡し、説明しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一人で電話をかけられない利用者様には、希望時、職員が代行して支援しております。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、食堂、廊下、玄関においては、職員と利用者様手作りの飾り付けを施し、季節感を味わい、居心地の良い環境づくりをしています。 テレビの音量の配慮の他、室内温度・湿度を午前・午後に記録し、窓の開放やカーテンの開け閉めを利用者様に確認しながら調節して、心地良く過ごせるように工夫しております。	天井が高く、広々としたスペースには、食卓テーブルセットや多くの観葉植物、季節の飾り付けがあり、華やかな雰囲気である。ホーム内は適切な温度・湿度管理がなされており、テレビの音量は耳障りにならない程度で、利用者がゆったりと居心地良く過ごせるように配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様は食卓に座ってテレビや週刊誌を見たり、軽作業を行ったり、気の合う利用者様とお話をしています。 また、玄関近くのソファに座り、花を眺めたり、廊下奥の椅子に腰掛け、ゆったりと過ごされています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご家族の写真を飾ったり、自宅で使用していた小物や飾り物、趣味の編み物、ご家族の位牌を持参される方もいます。	入居時に愛用している物品の持ち込みを働きかけており、写真や位牌等の持ち込みがある。また、持ち込みが少ない利用者に対しては、手作りの装飾品や行事の写真を飾り、その人らしく、穏やかに暮らせるような居室づくりを行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで、要所に手すりを設置し、浴槽内にはすべり止めマットを使用し、転倒しないように配慮しています。 自分の居室を間違わないよう、居室前に名前を表示したり、居室内においても整理整頓を行い、個人が歩行しやすい、心地良い環境を提供しております。		